Ⅴ．減損会計関係

１．減損の認識

当事業年度において、以下の資産について減損処理いたしました。

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：円）

用途	種類	場所	帳簿価額	備考
全学の教育等	建物	熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 附小プール更衣室	3,986,501	
全学の教育等	建物	熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 附小プール便所	2,142,001	
全学の教育等	建物	熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 旧ボイラー室	752,046	
全学の教育等	建物	熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 附小プール附属家	486,202	
全学の教育等	工具器具備品	熊本県熊本市中央区黒髪２丁目39番１号 先端科学研究部（大学院） ◎ThetaProve同時角度分解型ＸＰＳ分析システム	453,715	
合計			7,820,465	

⑵　減損の認識に至った経緯

・附小プール更衣室

対象資産について、今後使用しないことが決定（廃却）されたため、減損を認識しました。

・附小プール便所

対象資産について、今後使用しないことが決定（廃却）されたため、減損を認識しました。

・旧ボイラー室

対象資産について、今後使用しないことが決定（廃却）されたため、減損を認識しました。

・附小プール附属家

対象資産について、今後使用しないことが決定（廃却）されたため、減損を認識しました。

・◎ThetaProve同時角度分解型ＸＰＳ分析システム

本体機器に附属するＰＣのＯＳをＲ４．３．９にアップグレードしました。本体機器が故障、老朽化及び陳腐化し、今後使用しないことが決定（廃却）されたため、減損を認識しました。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産毎の内訳　（単位：円）

場所	種類	減損額	うち損益計算書に計上した金額	うち損益計算書に計上していない金額
熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 附小プール更衣室	建物	3,986,500	―	3,986,500
熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 附小プール便所	建物	2,142,000	―	2,142,000
熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 旧ボイラー室	建物	752,045	752,045	―
熊本県熊本市中央区京町本丁５番12号 教育学部 附小プール附属家	建物	486,200	430,958	55,242
熊本県熊本市中央区黒髪２丁目39番１号 先端科学研究部（大学院） ◎ThetaProve同時角度分解型ＸＰＳ分析システム	工具器具備品	453,714	453,714	―
合計		7,820,459	1,636,717	6,183,742

⑷　回収可能サービス価額の算定方法等

土地については、正味売却価額を採用し、正味売却価額は市場価格に基づいて算定しております。

建物については、使用実績が著しく低下していることにより減損を認識しているため、回収可能サービス価額として使用価値相当額を採用し、当該資産の帳簿価額に、当該資産につき使用が想定されていない部分（使用しないという決定を行った部分を含む。）以外の部分の割合を乗じて算出した価額を用いております。

２．減損の兆候

当事業年度において、以下の資産について減損の兆候が認められました。

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：円）

用途	種類	場所	帳簿価額	備考
全学の教育等	建物	熊本県熊本市中央区黒髪７丁目763番 学生支援部 寄宿舎男子Ａ棟	2,930,137	※１【⑵、⑶】